

『サポートちた宣言』

「福祉」という言葉からあなたは何を連想しますか？

弱者のためのもの？ 社会保障？ 介護？

「福祉」は私たち人間が人間らしく生きるため、

自分らしく生きるため、誰もが幸せになるために必要なものです。

NPO法人地域福祉サポートちたは、誰もが自分が望んでいる地域で、
自分らしく生き、心豊かに、幸せに暮らしていける
そんな地域づくりを目指しています。

私らしく生きるには何が必要か？誰かの役に立つには何をすればいいか？
できることから、気づいた人から、その想いを形にと
一人ひとりが活動に参加し

新しい想い、新しい価値、新しい活動を生み出し

地域を変える力につなげています。

私たちは地域に住む市民として、NPOで活動する仲間として

ともにまちを育て、人と育ちあう

そんな存在でありたいと思っています。



特定非営利活動法人

地域福祉サポートちた

知多モデルを 全国に広げよう



知多半島は

福祉系NPOの先進地

「知多半島は選択肢がものすごく多い。身近なところで自分に合ったサービスを选べるのは本当に有り難い」。こんな言葉をよく聞きます。

人口約60万人を擁する知多半島は、5市5町（半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町）から構成されています。この半島にある福祉系NPOは緩やかなネットワークを組んでおり、その「つなぎ役」を果たしているのが特定非営利活動法人「地域福祉サポートちた」（以下、サポートちた）です。

2009年7月現在、半島内の団体会員は22、これら団体の事業収入合計は約12億2800万円（2007年度実績）に達しています。その内訳を見てみると、収入が1億円を超える団体が4つ（ふれ愛（東海市）約1億1800万円）、ネットワーク大府（大府市）約2億5800万円）、りんりん（半田市）約1億1700万円）、ベタニアホーム（半田市）約1億6200万円）へ、5000万円（1億円の収入がある団体が5つ）ゆいの会（知多市）5900万円）、絆（東浦町）9600万円）、あかり（常滑市）7900万円）、菜の花（半田市）7000万円）、ゆめじろう（武豊町）6500万円）があります。言うまでもなく、これら団体の活動はそれぞれの地域で大きな雇用を生み出しています。

特筆すべきことは、いずれの団体も国の制度に乗った事業（高齢者向けの介護保険事業や障害福祉サービスなど）だけでなく、独自に会員同士の助け合い活動をしていることです。ここに大きな特徴があります。

「知多半島は福祉系NPOの先進地である」と言われるのは、少数の福祉系NPOだけで完結していないからです。具体的にいえば、①助け合い活動を展開している福祉系NPOが知多半島の中にもいくつも点在していること、そして②それらの団体が人材育成および情報交換のために緩やかなネットワークを組んでいること、さらに③そのネットワークが、他から管理されることなく「生き物」のように進化・増殖を続けている——これが知多半島型福祉モデルの特徴だといえます。

知多半島型福祉モデルとは 〈まちづくり型福祉〉

では、そもそも知多半島型福祉モデルとは何なのでしょう？ それは施設型から在宅福祉へとという〈まちづくり型福祉〉であると表現できます。

〈まちづくり型福祉〉という言葉は、「ハードの福祉」から「ソフトの福祉」へと流れの中から必然的に生まれてきた概念です。「施設の中ではなく町の中で普通に暮らしたい。そのための支援システムをつくってほしい」という願いに込めて生まれた概念です。

「町の中で普通に暮らしたい」という声に込めていくためには、福祉系NPOという拠点を身近な地域にたくさん作っていく必要があります。だとすれば、大きな点を作る必要はありません、ある程度の規模を持った点を地域ごとにたくさんつくっていくといい、また、必ずしも一つひとつの点がすべての機能を持つ必要はなく、近くの点同士が資源と人のやりとりができるように点

同士がつながっていくべきです。こういうネットワークづくりの基点になっているのが「サポートちた」です。

ともすればネットワークは固定的なものになりがちです。社会を変える力を持ち続けようとするのなら、開いたネットワーク、静的なネットワークではなく動的なネットワーク、一様なネットワークではなく多様なネットワークであるべきでしょう。

では、もう少し詳しく〈まちづくり型福祉サービス〉について見てみましょう。その特徴は三つのキーワードで説明できます。

キーワード1 助け合い

二つ目のキーワードは「助け合い」です。これは、「助け合いの精神」をみんなが持ちましようという精神論ではなく、「助け合いの精神」を具現化したサービスを地域に広

げていくというメッセージです。

たとえば、高齢者福祉サービスを提供するNPOは二つに分類できます。一つは介護保険事業だけです。もう一つは介護保険事業だけでなく「助け合い事業」として相互扶助の精神に基づく会員同士の助け合い活動を支援する事業で、介護保険では対応できない家事援助や子育て支援などの活動をさします。

「公益の増進に寄与する」というNPO法の精神から見ると、福祉系NPOにとって助け合い事業は必須ではないでしょうか。なぜならば、「助けるー助けられる」という関係は人と人をつなぐ原点であるからです。「困ったときはお互い様」助け合い活動を広げていくことは支援の輪を広げていくこと、それはかつては地域の中に当たり前にあった「人と人とのつながり」を取り戻していくことです。

キーワード2 三方よし

二つ目のキーワードは「三方よし」です。これは、江戸時代の近江商人の経営理念であり、「売りよし！ 買手よし！ 世間によし！」を言い表したものです。簡単に説明しましょう。

商売をするからには儲からねばなりません。これが「売りよし」です。また、お客さんにも喜んでもらわなければなりません。これが「買手よし」です。さらに、その商売が地域の発展につながらなければなりません。これが「世間よし」です。「売りよし」「買手よし」「世間よし」の三つが揃って「三方よし」となります。

福祉系NPOの事業運営を考える際にも、この「三方よし」の理念は非常に大切です。

障害者や高齢者の人たちが、自分の希望する暮らしを実現できるというのが「買手よし」を意味します。「売りよし」とは、そこで働く人たちが経済的に安定し

知多モデルを全国に広げよう

以上、述べてきたことをまとめてみましょう。知多半島型福祉とは「助け合い」「三方よし」「御縁から志縁へ」をキーワードに、支援を必要としている市民の多様なニーズに合わせて、多様なサービスを提供できるような支援の網の目を、地域で暮らす市民が主体となつて身近なところに作っていくという「まちづくり型の福祉」です。

ています。ひとりでは何もできません。同士や仲間を集めて「人の石垣」をつくる必要があります。そこから「私たちにもできるかも」「じゃあ一緒にやろう」という声が自然に出てきます。1人ひとりの持つ知恵とエネルギーが単なる「足し算」ではなく、かけ算されていきます。複数の部分的な相互作用が複雑に絡み合うことで予想を超えた動きが生まれてきます。これを「創発効果」といいます。人間1人ひとりの力を信頼するソフト型福祉の面白いところです。

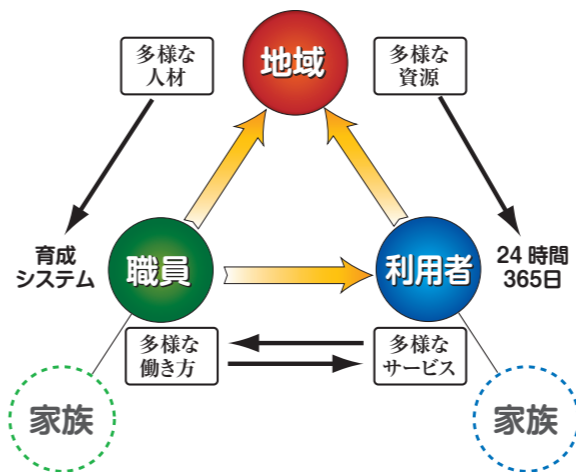


図1 三方よしの概念図

た生活を送ることができると、仕事を通じて自己実現を果たせることです。平成16年に行った知多半島の福祉NPOの雇用力と教育力の調査結果から明らかになりました。ここで働く人たちは大変学習意欲が盛んで、NPOで働いたことによる「地域づくりへの意識の醸成」が進んでいるといえます。そして、事業所の活動が、豊かな地域社会を作っていくことにそのままながつていることが「世間よし」の意味です。持続可能な地域づくり

の土壌ともいえる人づくり、それがこれらのNPOの活動によって生み出されています。

「三方よし」の考え方を図1にまとめてみました。では、そもそも「三方よし」という考え方はなぜ重要なのでしょう。それは、特定の誰かだけが良いという仕組みでは長続きがしないからです。持続可能な福祉社会を作っていくためには、みんなが一緒に良くなるような仕組みが必須です。自分からみんなへとシフトチェンジしていく。これは、地域に対する責任のみならず、未来に対する責任を果たすこともあります。

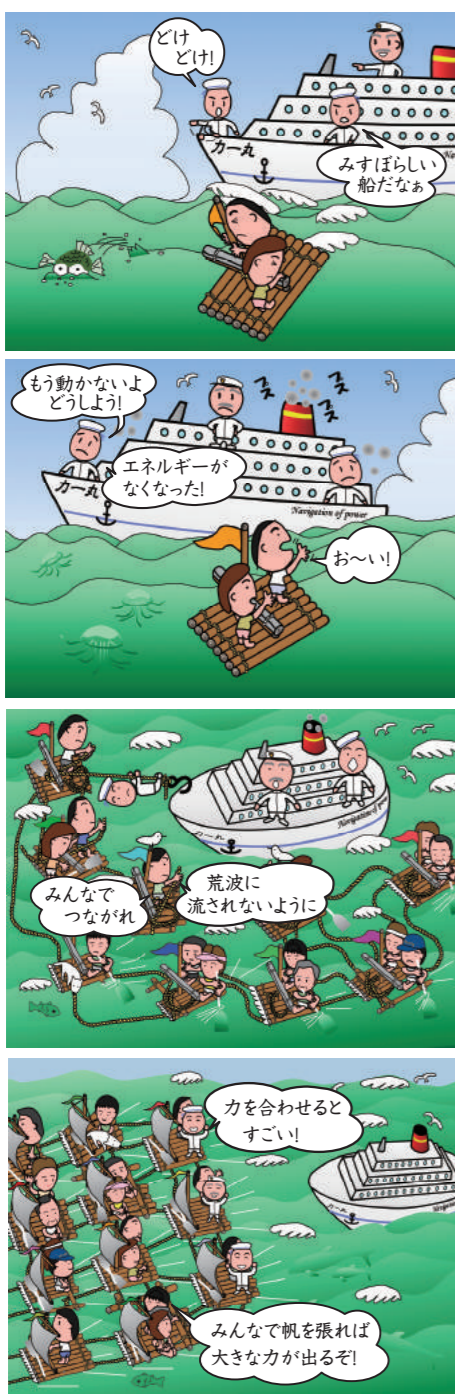
持続可能な仕組みをスムーズに動かすには多様性を意識することが大事です。図1をもう一度見てください。

豪華客船型

VS イカダ連隊型

〈まちづくり型福祉〉という考え方は、「ハードの福祉」から「ソフトの福祉」へと流れに沿って生まれてきた概念です。「ハードの福祉」とは豪華客船型、「ソフトの福祉」とはイカダ連隊型に例えることができます。

まずは、豪華客船型の福祉サービスをイメージしてみましょう。豪華客船を建造するには莫大な費用が必要で、そのため、常に需要が供給を上回るような状態で、豪



多様なサービスを提供しようとする、そこに多様な働き方が生まれてきます。多様な働き方ができる人材を集めるには、多様な人材を地域から集め、彼ら彼女らを育成していく必要があります。町の中で人が動き始め、交流の渦が生まれます。地域に新しい雇用の場が次々と生まれてきます。

このように、多様性という視点で人や資源を洗い出してみると、そこに新しいつながりの可能性が開けてきます。

キーワード3 御縁から志縁へ

三つ目のキーワードは「御縁から志縁へ」です。これは、「三方よし」の理念」や「助け合いの精神」をどのようになに育んでいくのかという方法論です。「言うは易く行うは難し」とはよく言われることです。方法論のない理想論は空論でしかありません。

理想を実現していくための方法論の一つが体験の場を作っていくこと。百聞は一見にしかず。意識を変えるのは体験しかありません。理屈ではなかなか意識を変えることはできません。そういう考えから「サポチた」は体験できる場をどんどん作っています。

御縁が生まれるような出会いの場所をつくること、御縁が志縁に変わるような学び合い、育て合い、高め合う場所をつくること、そこから変える力や創る力が芽生え、支え合う関係を創り出す事業が生まれていく——こんな仕掛けを打ち出していくのが「サポチた」の大きな使命です。

「ハードの福祉」の要がお金（建物）だとすれば、「ソフトの福祉」の要は人です。しかし、だからといって、ひとりの人間にできることは限られ

華客船に乗りたくても乗れない人がたくさん出てきます。

運良く乗船できたとしても船内のルールは厳格かつ画一的で、息苦しさを感じる人も少なくありません。だからといって、移動できる船は近くに見当たりません。仕方なく船内で我慢しながら時を過ごすこととなります。

エンジンを動かす燃料はもっぱら外部から調達しなければなりません。そのため多くの費用が恒常的に必要になってきます。燃料を購入するための費用が途絶えたらどうなるでしょうか？ エンジンは止まり、船は大海原で立ち往生す

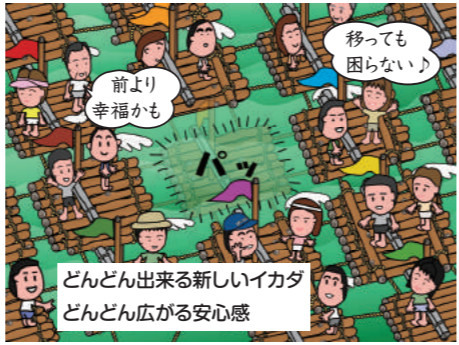
知多モデルを全国に広げよう

知多モデルを全国へ！

今さら言うまでもなく、超少子

高齢社会が到来しています。年少・生産年齢人口が減り続けている一方で、高齢者人口は急激に増えていきます。今後、介護需要は高まっていくにも関わらず、社会保障にまわせる費用は、生産年齢人口の減少により低下していくことが予想されます。

こういう事態に私たちはどう向き合っていくのでしょうか？
「大規模な施設をどんどんつくるべきだ」と言う人もいます。しかし、



北欧のように「高負担高福祉」という路線でいくという合意が日本においてなされる可能性はほとんどありませんので、とても無理な話です。また、施設の建設する初期費用や建物を維持していくコストを考えると必ずしも経済効率の高い仕組みではありません。さらに「高齢の人も若者も、障害を持った人もそうでない人も、すべて人間として普通（ノーマル）の生活を送るため、共に地域で暮らし、共に生きる社会こそノーマルである」という

ノーマライゼーションの考え方に合致しません。

「家族で介護するしかない」と言う人もいます。しかしながら、核家族が進む現状においては、必要な介護を家族だけに求めようとしても無理であることは明らかです。さらに、2015年には一人暮らしの高齢者が高齢世帯全体の3割を超えると推計されていることを考えると、現実的な考え方ではありません。

ではいったい全体どうしたらいいのでしょうか？ 自助、共助、公助をバランスさせていくしかないでしょう。そして、その三つの中で圧倒的

に不足している共助の部分、すなわち「おたがいさまという」地域支援の輪を広げていくしかありません。

ここで暮らし続けたい、ここで暮らし続けられる三そう思える「自分たちのまち」を仲間と一緒につけてみませんか。まずは共感する仲間を2、3人集めましょう。そこからさらに仲間の輪を広げていきます。得意なことを持ち寄り、事業の土台を作っていきます。成果を急がない、諦めない、やり続けることが大切です。「サポチた」はそんなあなたのお手伝いをします。

ることになります。

豪華客船はひたすら決められた航路を走ります。小回りが効かないので、前方に障害物を発見してもそれを避けることができません。豪華客船は孤立していますから、海の中以外に逃げ場所はありません。障害物にぶつかって、船もろとも海の藻屑になってしまいます。

次にイカダ連隊型福祉サービスにイメージしてみましょう。豪華客船と違って、イカダを作るための費用はそれほどかかりません。身近なところにある資源を上手に生かせばよいからです。また、市民が自



前で豪華客船を作ることはできませんが、イカダならば可能です。

地域の現状を見て、イカダが必要だと思う人がイカダを作ればいいだけの話ですから、ほぼ必要と供給は一致します。地域の現状にあったイカダですから、そのイカダは多種多様なものとなるでしょう。

動力は風力と手こぎですから、ランニングコストはほとんどかかりません。よって、豪華客船のように大海原で停まってしまうことはありません。

利用者として乗り込んだ乗客も船をこいだり、作業をこなします。その人も持つている能力に合わせて

役割を果たすことができます。また、豪華客船のように役割がきつちりと固定していません。その人のライフスタイルに合わせて、ボランティアからヘルパーに、ヘルパーからスタッフに、そしてスタッフから利用者にとりかかるといった変化が自然と起こります。

航路は自由自在、その上に小回りが効きますから、前方に障害物があったとしてもその障害物を乗り越えて走ることが出来ます。運悪く座礁しそうになっても、隣のイカダに移れば良いだけの話です。もちろんイカダそれぞれのルールや雰囲気があります。しかし、多

種多様のイカダが連隊を組んでいるので、自分が自分らしく生きられるイカダを見つけることが可能です。働く人にとっても同様です。自分に合った職場を見つける可能性が大きいのです。

豪華客船型福祉とイカダの連隊型福祉——前者がお金で安心を買うことスタイルだとすれば、後者は、人と人とのつながりを取り戻し、支え合って生きていくことができる仕組みを作っていくことで安心を培っていくスタイルです。どちらが現実的な方法でしょうか？ どちらが楽しいのでしょうか？

理念 あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい

設立経緯
 知多半島では1990年に東海市で在宅サービス団体が活動を始めて以来、市民互助型在宅福祉活動が活発化していきました。各市町村で団体が誕生する中、情報交流会やネットワークづくりを意識的に行う人たちが出現し、その人たちによつてつくられたネットワークを基にサポートちたの母体となる「在宅ネット」が1998年5月に誕生します。

その後、NPO法施行や2000年の介護保険制度導入をきっかけとして各団体が組織化・事業化をさらに進めることとなり、それらの中間支援組織として1999年8月に「地域福祉サポートちた」が設立され、12月にNPO法人として認証されました。

誰もが助け合い、心豊かに生活できる地域福祉社会を形成していく事を目的に、分野を超えた情報交流ネットワークをさらに広げ、自分らしく、人間らしく生きていける地域づくり・まちづくりに日々努力を重ねています。

—地域福祉の観点から誰もが自分らしく生きていける社会を目指します—

代表理事あいさつ

市民の「何とかしたい！」意思に共感、共鳴する仲間たちがこの10年を創ってきました。半島のネットワークは、常に市民の声をつなぎ、活動の現場から学びあう関係を信頼と共に築いてきました。そこにつながる組織として本法人は「進化するネットワークと協働」を具現化し、地域においては「おたがいさま」の精神となつて、半島の新しい時代の地域づくりの文化を創造しています。

時代の転換期だからこそ、市民が「社会を変える舵取り」の主体となる時です。そして次の10年に向け、一人でも多くの市民が明るい未来の夢に向かってチャレンジするNPOの現場につながり、新しい暮らし方と活動の楽しさを共有できることを願っています。



NPO法人地域福祉
サポートちた 代表理事
松下 典子

地域福祉サポートちたの

2. であいをつくる (情報交流促進事業)

分野を超えたNPOのつながりや会員団体をはじめとする市民活動の交流を促進するために、WEBサイトや機関情報誌で情報提供を行っています。

- SUPPORT NEWS (機関情報誌)
- 会員団体ガイドブック

3. きいて、こたえる、つなぐ (啓発・相談事業)

NPOの現場や市民活動の生の声をたくさんの方々に知っていただいたり、活動の中の迷いを共に考え、育ち合う努力を行っています。

- NPO 見学バスツアー
- 福祉フォーラム

1. そだちあう (人材育成・研修事業)

安心して、豊かに暮らせる地域づくりを担う、市民として育ちあえる人材育成を行っています。

〈人材育成〉

- ホームヘルパー講座
- 行動援護従事者養成研修講座

〈NPO支援〉

- NPO 現場見学バスツアー
- インターンシップ
- NPO マネジメントセミナー

- 市民カフェ Ada-coda
- 市民活動センター運営支援



- 会員団体実態調査
- 知多半島総合研究所 協働プロジェクト

NPOや市民活動についての調査報告や社会資源の創出を行っています。

また、中間支援組織としての役割を果たすため、専門的な知識を持った人々と協働プロジェクトをつくり、政策提言を目指しています。

4. しらべてつたえる

(調査・研究・提言事業)

たくさんの「やってみようかな」を応援するため、ボランティア、市民活動のきっかけづくりを行っています。

5. おうえんする (市民活動支援事業)

5つの事業と活動実績

これまでの主な活動

- 1999 法人設立・事務所開所 (知多市寺本台)
- 2000 事務所移転 (NPO法人ゆいの会)
- 2001 日本福祉大学での学生向けヘルパー講座開始
愛知県委託事業 NPO人材養成講座
事務所移転 (NPO・ボランティア情報ひろば開設)
- 2002 NPO マネジメントセミナー開始
NPO 現場見学バスツアー開始
アメリカNPO 視察ツアー
- 2003 地域ケア起業講座開始
手づくりカフェ Ada-coda オープン
愛知県委託事業 地域づくり協働支援事業
成年後見プロジェクトチーム結成
- 2004 知多半島総合研究所との共同研究
精神障がい者ヘルパー養成研修講座
地域協同フォーラム in あいち
愛知県職員インターンシップ受け入れ開始
- 2005 成年後見学習会
地域再生多機能拠点づくり講座
オランダ視察
- 2006 共同研究フォーラム
人にやさしいまちづくり賞受賞
- 2007 事務所移転 (知多市市民活動センター)
行動援護従事者養成講座開始
安心安全なまちづくりフォーラム
愛知県委託事業 NPOと行政の協議の場づくり
NPO法人知多地域成年後見センター設立
- 2008 中間支援力アップスクール
愛知県委託事業 地域協働促進研修実施事業
知多市委託事業 NPOと地縁団体の出会いの場



旧事務所



バスツアー



ヘルパー 2 級講座



NPO マネジメントセミナー



地域共同フォーラム



手づくりカフェ Ada-coda

(社会福祉法人) 愛光園 知多地域障害者生活支援センターらいふ

〒470-2102 愛知県知多郡東浦町大字緒川字寿久茂129
TEL : 0562-34-6609 FAX : 0562-34-6618
<http://www15.ocn.ne.jp/%7EElife1997/>



「どんなに重い障害を持つていても、だれととりかえることもできない個性的な自己実現をしているものなのである。人間とうまれ、その人なりの人間となっていくのである。その自己

実現こそが創造であり、生産である。」糸賀雄一(福祉の思想)この理念の実践を愛光園は続けてきました。施設を作ることはなく、あたりまえでふつうの暮らしができるようにと、地域生活支援活動を開始しました。地域の中で快適に暮らし続けるには、いつでも必要なときに必要なサービスが必要でなければなりません。安心して使えること、必要に応じて選ぶことができる。これが「らいふ」の願いと活動です。

特定非営利活動法人 もやい

〒470-2212 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字英比16
TEL : 0569-48-8249 FAX : 0569-48-8268
<http://www.cac-net.ne.jp/~moyai/>
設立日1997.4.3



皆さんはもやい(催合い)の意味をご存知でしょうか。もやいとは共同して事をなすこと。もやいはその名の通り、助け合いの輪を広げ、やがて迎える老いを豊かなものに、誰もが安心して

して子どもを生み育てられる地域づくりを目指し、必要な時に必要な支援をこころがけています。私達は地域の安全装置であり続けること、存続を未来への贈り物とすること、地域の寄り合い所であることをモットーとして、地域の方々の暮らしの小さなお手伝いを続けて行きます。

特定非営利活動法人 だいこんの花

〒478-0001 愛知県知多市八幡西水代100-1
TEL : 0562-36-0228 FAX : 0562-39-2224
<http://cfk.web.infoseek.co.jp/Daikonohana/>
設立日2006.4.14



築70年余りの民家で、その住スペースが人の心を癒し、人を思いやるあたりのまへの生活空間になってきました。小さいながらも皆さんが気軽に立ち寄り、楽しくおしゃべりが出来るようなふれあえる場所づくりから始まりました。人を大切に、困ったときはお互い様の気持ちを忘れずに住みやすい地域づくりに努め、さらにこの輪が少しずつでも広がっていくことを願っています。

特定非営利活動法人 絆

〒470-2102 愛知県知多郡東浦町緒川字北赤坂35-1
TEL : 0562-83-7563 FAX : 0562-83-7518
<http://www.medias.ne.jp/~npo-kzn/>
設立日1994.7.7



助け合いの心を大切にし、住み慣れた町、暮らし続けた家で、その人らしく生きていくことができるように支え合う会です。地域の中で、必要としていることや、できることを一人ひとりが少しずつ出し合うことで、人と人がつながり、人と地域の役割につながり、大きな助け合いの輪が広がっていくことを信じ活動しています。平成21年4月新拠点地域たすけあいセンター絆がオープンし、さらに地域の

親子の広場 あんだんて

〒470-2105 愛知県知多郡東浦町藤江西の宮80-1
TEL : 0562-85-0406 FAX : 0562-85-0406
<http://fujie-andante.hp.infoseek.co.jp/>
設立日2004.10.1



子育てをめぐるさまざまな問題は当事者である親だけが頑張っても解決できない社会問題になっていきます。誰にも相談できず、深刻な問題に発展するケースも少なくありません。そこで、地域で安心して子育てができるよう子育て中の親子が過ごす場を提供し、そこから心配事や不安など日常の問題が解消していくことを目指しています。

愛知在宅介護・家事援助の会 ケア・フレンド ほのぼの会

〒477-0031 愛知県東海市大田町天尾崎75
TEL : 0562-32-3623 FAX : 0562-33-3022
設立日1995.8.1



地域にあたたかい真心をお届けしたい。地域の方々に、毎日の暮らしのちょっとした困りごと、あたたかい真心をお届けする助け合いのサービスを提供して、安心して暮らせるまちづくりに役立ちたいと願っています。

特定非営利活動法人 ゆいの会

〒478-0017 愛知県知多市新知字西屋敷21
TEL : 0562-32-5906 FAX : 0562-32-5984
<http://www.yui.npo-jp.net/>
発足日1991.5.1



誰もが私らしく、住んでいる地域で安心して暮らすには、そこにいる人々の支え合いが必要になります。住民同士のふれあい、情報共有の場を地域の人たちと作りあつて、共に生きる地域社会づくりを目指しています。活動は「たすけあい活動」介護保険事業「ふれあい活動」の3つの活動を中心に「一人ひとりの生きがいづくり」と、人と人とのつながりの大切さを学び合い、主体的に地域社会に参画する「市民」としての意識を高めていくよう努めます。

特定非営利活動法人 あゆみ

〒478-0051 愛知県知多市朝倉町92
TEL : 0562-36-0036 FAX : 0562-36-0036
設立日1998.8.1



「あゆみ」は、住み慣れた地域で、自分らしく生き、心豊かに、幸せに暮らしていける地域づくりを目指しています。なかでも、デイサービス「いきいきサロン あゆみ」では、地域の中で共に支え合いながら楽しく暮らせるよう、利用者スタッフの垣根がない、一人ひとりに寄り添うお手伝いや交流の場を提供しています。

特定非営利活動法人 ネットワーク大府

〒474-0038 愛知県大府市森岡町1-30
TEL : 0562-44-3735 FAX : 0562-44-2953
<http://www.horae.dti.ne.jp/~npo/>
設立日1992.9.1



高齢社会の進展と共に核家族化が進み、一人暮らしの人が確実に増加しつつある中で、日常の生活を維持することが困難になった時、そこに住んでいる市民からのちよとした助け合いで、共に安心して暮らせるまちづくりを目指します。平成4年9月に、住民参加型の在宅介護・家事援助を柱として、地域住民の要望に沿った種々の活動、地域の福祉力を高める活動を始めました。

特定非営利活動法人 はっぴいわん大府 / はっぴわん(常滑市)

〒474-0062 愛知県大府市共西町6-168
TEL : 0562-47-8107 FAX : 0562-47-8107
設立日2007.11.9



「はっぴいわん大府」は、高齢者のための楽しい場を作り、最後まで生きがいを持って「皆ピンピン」といけたらいいね」と、そんな仕組みをつくりあつていく市民団体です。町の人みんなで支えあう「いつ来てもいい、いつ帰ってもいい、いつでもつづける家」を目指しています。最終的には、このつながった人たちが仲間となつて地域で助け合つて生きていきたいです。

特定非営利活動法人 東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛

〒477-0034 愛知県東海市養父町苅宿31-1
TEL : 0562-36-0085 FAX : 0562-36-0132
設立日1990.1.25



「人はみな老いて子どもにかえる。年をとっても、病んでも、困難を抱えても、この町で安心して暮らすことができるように、地域の人達と協働、共生を基本に助け合いの輪を広めることを目的に行動します」を理念に掲げ、在宅介護からグループホームの運営まで必要なサービスを作り出し、活動を展開しています。

特定非営利活動法人 知多地域成年後見センター

【半田後見事務所】
〒475-0918 愛知県半田市雁宿町1丁目22番地の1
半田市福祉文化会館内
TEL : 0569-21-0811
FAX : 0569-21-0816

【知多後見事務所】
〒478-0047 愛知県知多市緑町32番地の6
知多市福祉活動センター内
TEL : 0562-39-2663
FAX : 0562-39-2667
<http://chita-kouken.com/>
設立日2008.1.25



私たちの暮らしは、いつどこで、どんな立場、状態になるかわかりません。判断能力の低下によって生じる様々な問題から身を守る制度、それが「成年後見制度」です。当事者に代わって契約行為をしたり、財産管理を行います。

特定非営利活動法人 エンドゴール

〒475-0805 愛知県半田市浜田町3-10-1
サンテラス乙川2階キャリアセンターはんだ
TEL : 050-1183-1650 FAX : 050-1183-1650
<http://www.endgoal.net/index.html>
設立日2004.7



・若者に対する「キャリア教育」と「人間教育」の実践
・自分の掲げた目標夢に向かって、自信を持ってチャレンジし続ける若者の育成
・他人や社会を大切に考えることができ、若者の育成
・次世代のリーダーの育成
・新しい自分を発見する機会と学びの場

特定非営利活動法人 りんりん

〒475-0962 愛知県半田市岩滑高山町5-4
TEL : 0569-21-3646 FAX : 0569-32-6623
<http://rinrin.or.jp/>
設立日1994.12.18



1994年、「人暮らしの高齢の男性が、退院後援助を必要としている」ということを知った「7人の女侍」が支援を始めたのがきっかけでした。設立当初は在宅介護、居宅支援が中心でしたが、現在では学童保育やデイサービス、障がいのある方の地域生活支援事業も行い、地域に貢献し信頼される市民活動を展開しています。

私たちは、「たすけあう心で、すべての人が健康で安心して暮らせる「いまちづくり」を目指しています。

特定非営利活動法人 t o ピア

〒475-0912 愛知県半田市春日町3丁目10-2
ふらっと2F
TEL : 0569-23-1152 FAX : 0569-23-1152
http://www.geocities.jp/topia_handa/
設立日2005.3.18



自分らしさを活かし、地域や社会で役割を持ちたいと考えている障がいのある人や、若い人たちが自分のできることを地域の皆さんと一緒に考え、体験し、ひとつひとつ自信についで一緒に運営します。

社会福祉法人 むそう

〒475-0914 愛知県半田市土井山町3-65
TEL : 0569-22-4072 FAX : 0569-22-4073
<http://www.musou03.org/>



ノーマライゼーションの理念に基づき、障害のある方とご家族に対し、地域生活支援に関する事業を行い、併せて障害のある方と市民とが共生するまちづくりと地域福祉の具体化、実態化を図ることで、新しい暮らし方の提案と地域づくりを進めています。

特定非営利活動法人 ぱお


〒475-0877 愛知県半田市勤内町1番地
半田市民参画支援センター内
TEL : 0569-26-5980 FAX : 0569-26-5980
<http://www.pao.npo-jp.net/>
設立日2002.4.1



子どもたちが一緒に考え、寄り添う大人や仲間と出会う場を作ります。またその場を通して生まれてきた実感・存在感・アイデンティティに気づき、安心して未来を描き実現していく学びを保障していくこと、さらには子どものみならず、子どもを取り巻く大人が手を携え合い、明るい未来を感じられる環境を提供をしていけることを願い日々の活動をしていきます。

特定非営利活動法人 ひだまり

〒475-0866 愛知県半田市清水北町3番地の1
TEL : 0569-26-3835 FAX : 0569-26-3834
設立日1997.5.1



人は要介護になっても住み慣れた家で、地域で、まちで、自分らしく輝き続けたいと願っています。そんな人々の願いに寄り添いながら、少人数で家族的な雰囲気の中でサービスをはじめとする各種活動を通じて、あたりまえのくらしができるよう地域活動生活支援を行っています。

特定非営利活動法人 ベタニアホーム

〒475-0928 愛知県半田市桐ヶ丘4丁目208-14
TEL : 0569-22-6444 FAX : 0569-22-6469
<http://www.cac-net.ne.jp/~betania/>
設立日1999.5.9



愛とやさしさを信条として皆様をお迎えし、人生の荒波乗り越えてこられたみなさまを尊敬し、ともに生きる喜びをわかちあいたいと思います。心温まる介護で日々のゆとりある生活をお手伝いします。地域のみなさまの役に立つ介護をめざします。ケアを必要とする人についても向き合える人材育成をモットーに活動しています。

特定非営利活動法人 みんなの家ほっと

〒470-2216 愛知県知多郡阿久比町大字植大字植深田9-1
TEL : 0569-48-0046 FAX : 0569-47-0997
<http://www.cac-net.ne.jp/~nphot/index.html>
設立日2005.11.3



「ほっとな食事」で、ほっとな心で、ほっと助け合い、育ちあいを大切に、くらしの小さなお手伝いと笑顔のお手伝いを目指します。世代を超えて赤ちゃんと子ども、障がい者から高齢者まで誰もが気軽に集い、食を共にし、思い、学び、つながる場をつくり、場が人を生かす、ほっとな茶の間からの地域づくりを目指します。

特定非営利活動法人 孝行の会

〒475-0837 愛知県半田市有楽町6丁目217番地
TEL : 0569-21-0386 FAX : 0569-21-1749



「親孝行」の文化を大切に、誰もがやがて迎える老いを心豊かに暮らせるよう助け合いの精神で「助け合い社会づくり」をスローガンに高齢者、障害者及び困難を抱える家族等を対象に、住民の参加と協力のもと福祉サービスに関する事業を行い、暮らしの安心づくりをしています。

特定非営利活動法人 菜の花 菜の花の家～成岩

〒475-0923 愛知県半田市春日町3丁目10-2
TEL : 0569-84-2070 FAX : 0569-84-2071
<http://npo-nanohana.com/>
設立日2001.10.26



心のバリアフリーを目指して、地域の若者から子育て中のお母さん、子どもたち、退職されて何かやってみたいなと考えている方々や高齢者、体や心へのケアのある方々、地域のなかで「自分のキラリが見つけれられる場所」作りや心と心をつなぐサポートを目指しています。

< 名古屋・尾張地区 >

特定非営利活動法人お達者クラブ

〒491-0069 愛知県一宮市北神明町3丁目10番地
TEL: 0586-24-3939 FAX: 0586-24-3939

特定非営利活動法人ワーカーズかすがい

〒487-0013 愛知県春日井市高蔵寺町2-67
TEL: 0568-53-3731 FAX: 0568-53-3731
http://www.workers-k.npo-jp.net/

特定非営利活動法人介護サービスさくら

〒465-0085 愛知県名古屋市名東区西山本通2-23
TEL: 052-788-2301 FAX: 052-788-2302
http://www.kaigo-sakura.com/

(株)ピー・エス・サポート

〒464-0032 愛知県名古屋市千種区猫洞通5-21-2
ライフピア本山3階
TEL: 052-781-5770 FAX: 052-781-5779
http://www.ps-support.jp/

特定非営利活動法人ボランティアネイバース

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜2-18-3-702
TEL: 052-979-6446 FAX: 052-979-6448
http://www.vns.or.jp/

特定非営利活動法人起業支援ネット

〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町1-24
COMBi 本陣 S102
TEL: 052-486-4101 FAX: 052-486-4103
http://www.npo-kigyo.net/

特定非営利活動法人中部社会福祉第三者評価センター

〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞3丁目8番10号
愛知労働文化センター3F
TEL: 052-745-0391 FAX: 052-745-0392
http://www.ric-hi-ho.ne.jp/chu-3-pyou/

特定非営利活動法人すけっとファミリー

〒467-0027 愛知県名古屋市瑞穂区田辺通二丁目30番地3
TEL: 052-861-6047 FAX: 052-861-6048
http://www.sketto.npo-jp.net/

特定非営利活動法人 あたたかい心

〒464-0075 愛知県名古屋市千種区内山1丁目11番16号
TEL: 052-745-5755 FAX: 052-741-0295
http://www.atatakai-kokoro.or.jp/

特定非営利活動法人 たすけあい名古屋

〒458-0041 愛知県名古屋市緑区鳴子町1丁目6番地
鳴子団地第80号棟001号室
TEL: 052-899-0833 FAX: 052-899-0800
http://www6.ocn.ne.jp/~tasukeai/index.html

特定非営利活動法人かんばす

〒458-0828 愛知県名古屋市緑区姥子山22-1
鳴海第二団地101棟207号
TEL: 052-627-0883 FAX: 052-623-9155
http://www.mc.ccnw.ne.jp/canvas/

< 三河地域 >

特定非営利活動法人青ねこくらぶ

〒448-0856 愛知県刈谷市寿町2丁目308番地
TEL: 0566-24-5878 FAX: 0566-24-5878
http://www16.ocn.ne.jp/~aoneko/

特定非営利活動法人くるくる

〒448-0843 愛知県刈谷市新栄町7-73-3 フラワービル3F
TEL: 0566-28-7496 FAX: 0566-70-7296
http://kuru2.sakura.ne.jp/

特定非営利活動法人一粒の種

〒447-0085 愛知県碧南市金山町2-1-13
TEL: 0566-48-7910 FAX: 0566-48-7910
http://www17.ocn.ne.jp/~hitotubu/index.html

特定非営利活動法人やさしい手

〒447-0889 愛知県碧南市東浦町1丁目39-2
TEL: 0566-43-7333 FAX: 0566-43-7334

特定非営利活動法人ふいーる工房

〒440-0832 愛知県豊橋市中岩田3丁目6-2
TEL: 0532-26-6321 FAX: 0532-26-6322
http://homepage2.nifty.com/atelier-feel/

特定非営利活動法人コア・エンジェル

〒441-3435 愛知県田原市仁崎町出雲田55
TEL: 0531-24-5245 FAX: 0531-24-5245

< 県外 > 特定非営利活動法人チャリティー・プラットフォーム

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-37 第2宮忠ビル3階
TEL: 03-5770-3150
http://www.charity-platform.or.jp/

特定非営利活動法人スマイルネットワークさかい

〒919-0541 福井県坂井市坂井町東第24号22番地
TEL: 0776-72-2282 FAX: 0776-72-2282

特定非営利活動法人 チャレンジド

〒470-3233 愛知県知多郡美浜町奥田儀路272
TEL: 0569-87-6727 FAX: 0569-87-6727
http://npo-challenged.org/index.shtml
設立日2003.11.27



「障害当事者と共に学び共に生きる」をモットーに、障害のある方の地域生活をサポートしています。きっかけは、日本福祉大学に通う障害学生が中心となり、同じように障害をもつ仲間自分らしい地域生活をサポートしたいという思いから始まりました。現在は、学生さんだけでなく、美浜町周辺地域に暮らす障害のある方の「自分らしく地域で暮らし続けたい」という思いに寄り添って、ヘルパー派遣等のサービスや様々な啓発活動を行っています。

日本福祉大学

【美浜キャンパス】

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田
TEL: 0569-87-2211
FAX: 0569-87-1690

【半田キャンパス】

〒475-0012 愛知県半田市東生見町26-2
TEL: 0569-20-0111
FAX: 0569-20-0119
http://www.n-fukushi.ac.jp/



現在、大学6学部9学科(通学課程)、通信教育部、大学院4研究科9専攻、付属高校、専門学校を擁する福祉の総合大学として展開しており、広がり続ける多様な「ふくし」に貢献できる人材養成を目標とし、あらゆる人々の生活を見つめ、より豊かな毎日を実現するためにしあわせについて考え続けています。

地域たすけあいの会 つどい

〒477-0031 愛知県東海市大田町前畑53
TEL: 052-604-5820

特定非営利活動法人夢netはんだ

〒475-0857 愛知県半田市広小路90
クラシティー半田3F(市民交流センター)

特定非営利活動法人ふわり

〒475-0859 愛知県半田市天王町1丁目40-5
http://fuwari.tv

特定非営利活動法人 あかり

〒479-0813 愛知県常滑市塩田町2-135
TEL: 0569-35-4185 FAX: 0569-35-6862
http://www.akari-npo.jp/
設立日1996.10.6



常滑市は高齢化が進んでいます。そして、核家族化や少子化などで、手助けの必要な人を家族だけでは支えきれなくなってきました。私たち「あかり」は、からだの具合が悪い人でも生きる意欲を持ち続けられるよう、安心して生活できる社会を目指しています。そして住み慣れた地域でも暮らすことができる「街づくりにお手伝い」に貢献していきます。「私たちの街に小さな「あかり」を灯しませんか？」

特定非営利活動法人 ゆめじろう

〒470-2531 愛知県知多郡武豊町大字富貴字外面85-2
TEL: 0569-72-2963 FAX: 0569-72-6454
http://www.yumejirou.org/
設立日2002.12.24



私たちは「ゆめじろう」に住み慣れたまちでふつとに暮らしたいという思いを込めました。ゆめじろうの活動の対象は、障がいのある方、介護を必要とする高齢者を含む住民全てです。地方分権が進み、これからは地域力が問われる時代です。住民サービスも行政との協力が必ず必要です。今一度私たちの暮らしに目を向け、認め合い許しあえる人々とのつながりを大切にしていきたいです。

特定非営利活動法人 美浜町在宅介護 家事援助の会ふれあいネットワーク美浜

〒470-3235 愛知県知多郡美浜町大字野間新町21番地
TEL: 0569-87-0743 FAX: 0569-87-0743
(月・木) TEL: 0569-87-1383 FAX: 0569-87-1383
設立日1996.12



地域にあたたかい福祉の手を届け、誰もが安心して暮らしていける存在を認めあえる仲間づくりの場、老若男女年齢を問わず楽しめる生きがい作りをしたいと活動しています。

県内会員団体マップ

2009年5月現在



名古屋・尾張地域

- 1.NPO法人お達者クラブ
- 2.NPO法人在宅福祉の会じゃがいも
- 3.NPO法人ワーカーズかすがい
- 4.NPO法人介護サービスさくら
- 5.(株)ピー・エス・サポート
- 6.NPO法人ボランティアネイバース
- 8.NPO法人起業支援ネット
- 10.NPO法人中部社会福祉第三者評価センター
- 11.NPO法人すけっとファミリー
- 12.NPO法人あたたかい心
- 13.NPO法人たすけあい名古屋
- 14.NPO法人かんばす

知多半島地域

- 15.NPO法人ネットワーク大府
- 16.NPO法人はっぴいわん大府
- 17.NPO法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛
- 18.愛知在宅介護・家事援助の会ケア・フレンドほのほの会
- 19.地域たすけあいの会つどい
- ★NPO法人地域福祉サポートちた
- 20.NPO法人ゆいの会
- 21.NPO法人あゆみ
- 22.KISS・サイエンス
- 24.NPO法人だいてこの花
- 25.NPO法人絆
- 26.社会福祉法人愛光園知多地域障害者生活支援センターらいつ
- 27.親子の広場あんだんて
- 28.NPO法人もやい
- 29.NPO法人みんなの家ほっと
- 30.(有)ウエルハート
- 31.NPO法人孝行の会
- 32.NPO法人菜の花
- 33.NPO法人ばお
- 34.NPO法人ひだまり
- 35.NPO法人ふわり
- 36.NPO法人ベタニアホーム
- 37.NPO法人りんりん
- 38.NPO法人toピア
- 39.社会福祉法人むそつ
- 40.NPO法人夢netはんだ
- 41.NPO法人知多地域成年後見センター
- 42.NPO法人あかり
- 43.ふれあい・生きがい・助け合いの会はっぴいわん
- 44.NPO法人ゆめじろう
- 45.NPO法人美浜町在宅介護家事援助の会ふれあいネットワーク美浜
- 46.NPO法人チャレンジド
- 47.日本福祉大学CDPセンター

三河地域

- 48.NPO法人青ねこくらぶ
- 49.NPO法人くるくる
- 50.NPO法人一粒の種
- 51.NPO法人やさしい手
- 52.NPO法人ふいーる工房
- 53.NPO法人コア・エンジェル



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター 1階

TEL : 0562-33-1631 FAX : 0562-33-1743
URL : <http://www.cfsc.npo-jp.net> E-mail : spchita@ams.odn.ne.jp